

令和7年度使用小・中学校用教科用図書採択理由

御嵩町教育委員会は、見出しの教科用図書について、下記の理由により当該発行者の教科用図書を採択した。

記

1. 小学校用教科用図書

令和7年度使用小学校用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定により、令和6年度に使用している教科用図書と同一のものを選定した。

2. 中学校用教科用図書

令和7年度使用中学校用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、可茂地区採択協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を選定した。

【種目】国語	【発行者】光村図書
【採択理由】	
1. 着眼点1－(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
・各教材において学習のてびきがあり、単元を通した学習の流れが見通しやすく、生徒の主体的な学びに役立つ要素が多い。例えば、文学的文章で心情をとらえたり、表現の効果を考えたりする個別の学習の後に、協働学習で深めていくプロセスが示してあり、学習展開がつかみやすい。	
2. 着眼点2－(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
・言葉の使い方・言語文化・語彙を豊かにするための小単元や資料が豊富で、表現のための知識・技能を高めることができるようになっている。「話す・聞く」「書くこと」に関しても、既習事項を活用した課題があったり、字体を変えて学びのポイントがわかりやすいようにしたり、表現で参照できる事例を多数載せたり、ミニレッスンのできる動画とリンクしていたりするなど、話すこと・書くことへの抵抗がなくなるような工夫が随所に見られる。	
・単元で付けさせたい力につながる見方・考え方の具体を示すことで、生徒が協働的に学習しやすくなっている。さらに、話す内容や書いた作品をICTで録音したり保存したりして共有し、交流や推敲につながるような協働的活動を促すヒントマークや、「話す・聞く」と「書く」の融合教材である「プレゼンテーション」「コピー作成」「冊子作り」など、個別学習と協働的学習の一体化を図る教材もあり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実が成されている。	
3. 着眼点3－(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	
・評価のしやすい学習課題の提示、字体やフォントの大きさや挿絵や色遣いなどの見やすさ、資料や語彙ブックの使いやすさや充実度などの長所が数多く存在している。	

【種目】書写	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
・「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」と、目標から振り返りまで、一目で学習内容を把握できるよう配慮されている。また、見開きの中にお手本が組み込まれているため、毛筆の学習の際、生徒は教科書を開いたり、閉じたりすることなく学習活動に集中することができる。さらに、教材文字を上部に、書き込み欄を下部にすることで、見やすいだけでなく、利き手に左右されない紙面構成となっている。	
・中学校で初めて学習する「行書」の書き方の、まとめのページが各学年で設定されている。行書の書き方の基本を丁寧に学ぶことで、学びの基盤を作ることができる。	
2. 着眼点1－(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	
・活動の目標と進め方、途中経過を視覚的に理解できるように配慮されている。それにより、生徒が日常生活に学びを生かしやすいものとなっている。	

【種目】社会（地理的分野）	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－（3）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点と関わって、個によって意見の相違が予想される課題を提示することで、広く、深い学びにつなげている。 ・主題図の読み取りでは、2つ以上の資料を関連させて考えたり、表現したりすることに力点を置き、主体的・対話的で深い学びを可能にしている。 	
2. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・「まとめの活動」では「みんなでチャレンジ」というコーナーが設定されており、グループ活動や考えを広げたり深めたりすることができる。さらに、「もっと知りたい」「未来にアクセス」というコーナーでは、生徒の興味を広げるような内容があったり、現代的な諸課題について深めたりすることができ、「個別最適な学び」が可能となっている。 	

【種目】社会（歴史的分野）	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－（3）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にバランスが良く、基礎的・基本的な習得から発展的な内容まで網羅されている。 ・対話的な活動コーナー「みんなでチャレンジ」が34か所もあり、生徒同士の対話を促すことで、一人一人の社会的な見方・考え方の育成とともに、主体的・対話的で深い学びにつなげている。 	
2. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・「チェック」「トライ」という発問が用意され、基礎的・基本的な内容の確認や表現する力をつけることができるとともに、それらを個別で追究できるなど、個別最適な学びを可能にしている。 	

【種目】社会（公民的分野）	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を広げたり、深めたりすることができるように、事象を多面的・多角的にとらえるための視点を示すなど、様々な工夫が随所に見られる。また、二次元コードが単位時間で一つ位置づけられているため、時や場所を選ばず、生徒は個別最適に学習を進めていくことができる。 ・「個別最適な学び」という視点から、「探求のステップ」というコーナーでは、各節で学習した内容を図や表を作成することで学び直しを行うことができる。また、まとめにおいて、グループで意見交換をする活動を仕組み、様々な人々の立場になって考えることができるような多面的・多角的な見方・考え方ができる工夫がなされている。 	

【種目】地図	【発行者】帝国書院
【採択理由】	
1. 着眼点1－（2）各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	
<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や外国語活動、音楽科でも活用できる要素が多く取り入れられている。また、歴史的分野及び公民的分野に関する資料が多く掲載されている。さらに、SDGs学習や自然災害、防災学習にも活用できるように、解説や取り組み事例などが詳しく取り上げられている。 ・主体的・対話的に地図帳を活用していくための資料として、写真資料が204点、主題図が284点、総資料数が749点と非常に多い。 	
2. 着眼点3－（2）文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市名や自然地域名称等にUDフォント、都道府県名等は独自のUDフォントが使用され、とても見やすくなっている。また、中部地方の地図の山脈や平野の配色は、明るくメリハリのある色彩で、より立体的に見えるように工夫されている。 	

【種目】数学	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点2－(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 着眼点2－(3)ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> 授業の導入や考えづくりなどで見ると効果的な動画やシミュレーションが、Dマークとともに、その内容まで示されている。また、補充問題もたくさんあり、ステップごとの解説などが丁寧で「指導の個別化」に十分対応することができる。よって、一人1台のタブレット等があれば、家でも、どこでも、自ら学びに向かうことがしやすくなる。 	
2. 着眼点1－(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 <ul style="list-style-type: none"> 章を貫く題材をいくつかの章で用意し、疑問を次の節へとつなぎながら主体的に問題解決していきけるよう大変工夫されている。また、「大切にしたい見方・考え方」も明記されており、活用のよさや数学のよさを実感できる工夫もあり、教師にとっても分かりやすい。 ほぼ全ての章末に「深い学び」のページを設定し、対話的な深い学びとなる数学的活動が行えるよう大変工夫されている。ページの横には、「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「友達の考えを知ろう」「話し合ってみよう」という流れを示し、協働的な学びや対話的な学びができるようにしている。また、他の条件でさらに考えてみようとする「深い学び」へと促している。 解法の示し方では、右側に解き方の流れを示し、他の問題でも適用できるよう工夫され、大変分かりやすい。 	

【種目】理科	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 <ul style="list-style-type: none"> 「じっくり探究」の節を設定し、生徒どうしの対話の具体例や「理科の見方・考え方」を適宜示し、主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっている。 	
2. 着眼点2－(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 <ul style="list-style-type: none"> 各自が立案した仮説や予想を基に、複数の実験方法から選択できる場面を設け、一人一人に応じた学習を可能にしている。また、探究の過程における対話例の掲載が非常に多く、協働的かつ主体的に学習する態度を育成できるようにしている。 	
3. 着眼点2－(2)生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価 <ul style="list-style-type: none"> 「探究をふり返ろう」の活動を設定し、探究の過程の妥当性について考えられるようにしている。また、単元や章ごとに「Before After」を設定し、学ぶ意味や自分の成長を実感できる機会が特に多い。 	
4. 着眼点2－(3)ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードの数が、1年生163個、2年生200個、3年生200個、合計563個と充実している。 	

【種目】音楽（一般）	【発行者】教育芸術社
【採択理由】	
1. 着眼点1－(1)資質・能力の三つの柱をバランスよく育成 <ul style="list-style-type: none"> 「歌唱」「鑑賞」「創作」と学習指導要領の「3つの資質・能力」を、それに対応する学習内容や教材同士の関連を示し、身につけたい学力が分かりやすくなっている。また、「音楽を形づくっている要素」に関わっては、ある旋律を題材にし、演奏したり聴いたりして確認する学習が位置付けられており、生徒の実態と授業に合わせて、教師が工夫して扱えるようになっている。特に、イラストや既習曲の楽譜等を例示し、それぞれの要素をイメージしやすくなっているため、生徒にとって非常に分かりやすい。 	
2. 着眼点2－(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 <ul style="list-style-type: none"> 歌唱共通教材の学習内容が、より具体的になっている。また、「歌詞に描かれた情景や日本語の持つ美しさは、音楽にどのように表されているのだろうか」となげかける言葉があり、生徒が主体的に学習に取り組むことができる要素がたくさん用意されている分かりやすい紙面となっている。 	
3. 着眼点2－(3)ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの歌唱教材に「ソプラノパート」「アルトパート」「カラピアノ」等のパート別音源が用意されており、二次元コードから簡単にアクセスできるため、生徒たちの「学びたい」「分かりたい」「できるようになりたい」を後押しすることができる。 	

【種目】音楽（器楽合掌）	【発行者】教育芸術社
【採択理由】	
1. 着眼点1－（2）資質・能力の三つの柱をバランスよく育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして取り組むアンサンブル曲が、難易度順で掲載されている。系統的、発展的に学ぶためのアンサンブル曲には、考えたいポイントが掲載されており、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。また、「アンサンブルセミナー」や「学びのコンパス」では、音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。さらに、リコーダー、箏、三味線、篠笛でクラシックからポップスまで幅広いジャンルの曲を演奏できる「楽器でMelody」があり、生徒の学習意欲をより高められる工夫がされている。 	
2. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・箏の学習では、学習目標が6つに細分化され、それぞれの学習活動に合わせて、練習や演奏のポイントを分かりやすく明記している。練習曲や教材曲は、生徒の技能段階に合わせて選曲されているため、自分のペースで無理なくふさわしい奏法を身に付けることができる。また、「かき爪」「押し手」「引き色」「割り爪」「押放」「合せ爪」の6種類の奏法が取り上げられており、自分の技能段階にあわせ、発展的な学習がしやすくなっている。これの技能については、二次元コードからWebサイトにアクセスし、動画で確認できるようになっている。 	

【種目】美術	【発行者】日本文教
【採択理由】	
1. 着眼点1－（2）各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	
<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮した内容で、かつ系統立てられた題材設定がされており、3学年の成長に応じたきめ細かい指導がさらに進められるようになっている。また、小学校図画工作科からの連続性についても十分考慮されており、生徒にとって確実な学びが保証されていると言える。 	
2. 着眼点1－（3）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」、題材の入り口となる「鑑賞」、参考となる「作品」とともに、題材ごとに「造形的な視点」を示している。この「造形的な視点」は、生徒が造形的な見方・考え方を働かせるための重要な要素で、表現や鑑賞の活動を進めるうえでの具体的なヒントとなる。 ・「思考力、判断力、表現力等」の目標の表記が、「構想を練ったり、鑑賞したりする」となっている。美術科における「思考力、判断力、表現力等」は、表現の発想・構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力の両方が含まれるので、この表記の仕方はより適切であると言え、学習指導要領の趣旨、目標、内容に沿ったつくりになっている。 	

【種目】保健体育	【発行者】大修館書店
【採択理由】	
1. 着眼点1－（2）各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	
<ul style="list-style-type: none"> ・「性」に関する学習では、性情報の入手先を中学生と高校生を比較し、性への関心には性差や個人差があることを強調している。さらに、コラムには「自画撮り被害の事例」をもとに、現代の問題でもある誤ったSNSの使い方にも十分配慮されている。また、特集資料として、性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みが記載している。生徒にとって実生活の見方に変化を与えることができる内容であると考えられる。 ・「ストレス」に関する学習では、ストレスは考え次第でコントロールできることに気づかせる配慮がされている。また、ストレスに対しての考え方だけでなく、現代の問題点を大切にしている内容となっている。さらに、前時に学んだ内容をさらにつなげながら系統立てて、深めていけることも配慮されている。 	
2. 着眼点2－（2）生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・「がん」に関する学習では、生徒自身が身近に感じない「がん」という病気に対し、「2人に1人」という具体的な数字を用いることで、今後の自分の人生に関わっていく、自分ごととして考えていく捉えの工夫がある。 	

【種目】技術・家庭（技術分野）	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－（1）資質・能力の三つの柱をバランスよく育成 <ul style="list-style-type: none"> ・技術科の4つの内容がバランスよく配置されていて、各内容が1章「知識・技能」2章「課題解決」3章「社会の発展」という構成になっているため、生徒が学習の流れを見通しやすい構成になっている。 ・知識・技能の習得については、工具の使い方など、実際の作業の様子が写真で掲載され、重要な部分や工具を動かす方向が矢印などでクローズアップされていて、大変分かりやすくなっている。 	
2. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 <ul style="list-style-type: none"> ・見開きやガイダンスページ、各章末などの「技術の匠」コーナー、「資料」コーナーなどで、現在の技術に関わる状況、問題点、解決に向かう工夫などを、具体的な技術者の話をもとに紹介し、一人一人が様々な視点で取り組めるようになっている。 	
3. 着眼点2－（3）ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータプログラムの例示として、双方向のものが5例、計測制御のものが6例紹介されている。さらに、二次元コードが各ページに合計で134か所配置されていて、デジタルコンテンツを活用しやすくなっている。 	

【種目】技術・家庭（家庭分野）	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点1－（1）資質・能力の三つの柱をバランスよく育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「スナップ付け」の学習では、見開きに大きく手元の拡大写真とイラストを用いて手順を示している。写真で平面的に映したものと、イラストで立体的に説明しているため大変分かりやすい。加えて、生徒が行いそうな、失敗例が示されていることも、正しいスナップの付け方の技術の習得をしやすくしている。免外教師にとっても、指導がしやすい。 	
2. 着眼点2－（3）ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードが、全てのページに掲載されている。また、「着方の工夫」の学習では、タブレット上で、イラストの服の色や襟の形、柄や柄の大きさなどを自由自在に変え、試すことができる。加えて、写真で自分の顔を取り込むと、自分に合った色や柄を選べるようになっている。布などを準備することなく、色と柄を同時に体験することができるとともに、自分の手で、自分の顔に様々な色や柄の服をあわせ、個々が確実に思考力・判断力を働かせ、学習に向かうことが期待できる。この他にも、動きのある参考資料が多い。 	
3. 着眼点3－（2）文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 <ul style="list-style-type: none"> ・ページ全体が白を基調としているため、図や写真、キャラクターなどが鮮明であり、注目しやすくなっている。 	

【種目】英語	【発行者】東京書籍
【採択理由】	
1. 着眼点2－（1）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ちを表現するための工夫として、巻末資料に「帯活動用 Small Talk 即興で伝え合おう」が掲載されており、帯活動によって毎時間継続的に繰り返し、即興的なやりとり言語活動を行うことができるようになっている。また、「Expression List」では、質問と解答例・二次元コードが掲載され、生徒が主体的に活用したり発展したりして表現でき、個別最適な学びを進める工夫がされている。 ・小集団での協働的な学びを通して、英語の即興的なやり取りをしながら問題解決を目指す活動が設定されており、大変工夫されている。 	
2. 着眼点2－（3）ICTを活用した学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの内容が大変充実している。授業では、資料映像等を活用し、視覚情報支援ができる。また、学習者用のデジタルコンテンツも充実している。特に、解説動画やクイズは、生徒が学習進度に合わせて主体的に活用でき、家庭学習の活用においても大変配慮されている。 	

【種目】 道徳

【発行者】 光村図書

【採択理由】

1. 着眼点1－(1) 資質・能力の三つの柱をバランスよく育成

- ・「いじめ」に関する教材では、「主として集団や社会との関わりに関すること」、「主として自分自身に関すること」、「主として人との関わりに関すること」の3つの視点から考えることができるような教材を配列している。また、それらの教材は、「身分による差別意識」、「周囲に流される自分の弱さ」、「相手を理解する心」について考える教材で発展的な内容となっており、道徳的課題を多面的多角的に考えることができる。さらに、一年間を通して学習するテーマが、学校生活や学年の発達の段階に応じた配列となっているため、生徒が問題意識をもって考えることができる。

2. 着眼点1－(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

着眼点2－(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- ・視点C—15「よりよい学校生活 集団生活」の道徳的価値で扱われている教材について、生徒にとって話合う必然性をもたせやすい教材となっている。また、教師にとって、特別活動の時間と関連付けた横断的な授業を構想することができる、魅力ある教材である。
- ・「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」と段階的に考えを深める多様な発問や導入の仕方が工夫されており、生徒が自分と重ねながら、道徳的価値について深く考えることができるようになっている。